

# リサちゃん通信 51号

伊勢リサイクルプラザ  
伊勢市西豊浜町653番地  
TEL/FAX 0596-38-2800  
http://www.iserisaikuru.jp  
Email:eco@iserisaikuru.jp  
平成29年4月吉日発行

## 第32回 環境学習会のお知らせ

タイトル “どうなってんの？ 私たちの出すごみ” Part11  
「<sup>さんまる</sup>残さず<sup>いちまる</sup>食べよう！ 30・10運動」  
食品ロスを考える！

と き：6月3日（土）1時半より  
ところ：伊勢リサイクルプラザ Tel:0596-38-2800  
講 師：伊勢市役所環境生活部清掃課ごみゼロ推進係  
主事 東條 正和さん  
参加費：無料、 事前申し込み：不要



<sup>さんまる</sup>「30・10運動」とは、会食や宴会などで乾杯後の“30分間”とお開き前の“10分間”  
席を立たずに料理を楽しむことにより、食べ残しを減らす運動のことです。



日本では、年間約2,800万トンの食品廃棄物等が出ています。このうち、食べられるのに捨てられている“食品ロス”は年間約600万トン!!（飢餓に苦しむ国への食料援助量（平成26年：約320万トン）の約2倍の量!!）にものぼります。さらに、事業系（食料製造メーカーや外食産業など）と家庭系（家庭から出るごみ）でそれぞれ300万トンになり、「30・10運動」だけではなく、みなさんのご家庭での食べ物を“買い過ぎない”“作り過ぎない”“食べ残さない”ことなどが、食品ロス削減のためには大切なこととなります。皆さんも一緒に“食品ロス削減”の取り組みを始めてみませんか？

この他にも、ごみの分別方法や燃えるごみの減量に関する新しい取組などについてもお話しします。是非、ご参加ください！！

## みんなでいっしょに「もったいない」

環境分野で初のノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさんが来日した際、「ものを大切にする精神」を象徴する言葉として「もったいない」と言う日本語に深く共鳴、「この言葉を国際語にしたい」と、環境を保護するための合い言葉「MOTTAINAI」として提唱し、世界に向けて「もったいない」を発信しました。



伊勢リサイクルプラザでも資源の有効活用に関する活動や事業を行っていて、2006年に「もったいない宣言」を表明しました。この精神を広めようと、リサイクルプラザではいろんなところで、「もったいない」運動を提唱し、実行しています。

今回の環境学習会では、「食品ロス削減」の取り組みを中心に皆さんと一緒に考えてみませんか？

※一般廃棄物のうち、食品廃棄物等は32%を占めています。又、家庭系の食品廃棄物等のうち、35%は食品ロスです。

記：大野安道

# ほったるのはもったいない

もったいない精神を とことん活かそー！

## 平成29年度「もったいない教室」の予定

講座名	4月	5月	6月	7月
着物リフォーム教室	募集は終了しました 12日(水) 26日(水)		4月号広報にて募集 14日(水) 28日(水)	
手芸・小物教室	9日(日) (お弁当袋作り) 23日(日) (お弁当袋作り)	28日(日) (お弁当袋作り)	11日(日) (ハットポトルカバ-) 25日(日) (ハットポトルカバ-)	23日(日) (ハットポトルカバ-)
牛乳パックでペン立て作り	—	13日(土)	—	—
布草履教室	—	14日(日)	—	9日(日)
牛乳パックで椅子作り	—	—	10日(土)	—
布のリサイクル教室	15日(土) (巾着作り)	20日(土) (ヨロイ-バッグ)	17日(土) (七夕飾り)	—
廃油キャンドル・石けん作り	8日(土)	—	—	—
EM石けん作り	—	—	—	29日(土)
EMほかし作り(定員30名)	22日(土)	27日(土)	24日(土)	22日(土)

- ★ 定 員：各 15 名（先着順）
- ★ 申し込み：開催日の 1 か月前から受け付けます。
- ★ 対 象 者：伊勢市、明和町、玉城町、度会町に在住または在勤者を対象とします。
- ★ 時 間：午前 10 時から正午



### 第31回環境学習会 三重県の 多様な魚場環境が育む 豊かな水産物と水産研究

開催日:平成29年3月11日

楽しかった！

「伊勢湾の汚れは主として工場排水？ 家庭からの生活排水？ さてどっちでしょう？」

いきなりクイズでスタート。伊勢湾にアサリが減っていったのは何が原因か？

準備してきた赤潮の海水入りの2本の大きなシリンダーに買ってきたアサリを入れて、「さて、どうなるでしょう？」…????



その変化を待つ間に、伊勢湾の現実を映像に映し出しながらの説明を聞くことができた。仕上げは一人一人が絵筆を動かしてのストラップづくり。

目でたしかめ、手で作る、楽しく学び、楽しく知ることができた。



1時間後の変化に期待



魚のストラップ

あっという間に過ぎた…1時間半。この体験を通して環境問題にどれだけ関心が深められたか……。

知ったことを楽しく広めるには？……  
それぞれの場で活かしたいものです。